

まだまだ続く ブランニュー!!

夏終わりの新作ラッシュも一段落……かと思いきや、まだまだ尽きない新製品の報! 前号に引き続く「おかわり」として、注目どころのニューフェイスをとって出し!!

バッテリーには酷な 現代カーライフ事情

安全装備に快適装置と、より高度化する現代車によって、バッテリーへの電気負荷は増える一方だ。あれもこれもとその守備範囲はクルマ全体にまたがり、旧来のエンジン搭載車であっても、クルマと電気は切っても切れない深い関係にある。

けれど電気自動車がそのジレンマに縛られているように、電源そのものを過分に増やすわけにはいかない。電気容量に余裕を持たせるほどに車両全体の重量はかさみ、その重さが走行性能をスポイルしてしまうためだ。そのため、要求性能が増す一方で、持たされる電気容量は必要にして十



V caos リニューアル! チャージの 復越

分なだけに留められる。はなから余裕があるとは言いがたい。それこそ無駄なく効率的なスマートなオペレーションとも言えるけれど、運用次第では、時に不足する事態に陥ることになる。

リスクとなり得るひとつの要因が、後付けの電子機器だ。ドライブレコーダーも複数カメラ装着が当たり前になり、また駐車中でも監視のために絶え間なく稼働することも多

い。車両盗難の報がこのところ増えつつあるなか、市販セキュリティシステムの装着も重なれば、発電機が回らない駐車時だけに、その負担全てはバッテリーに掛かることになる。

走行中だって気を抜けない。昨今の現代車は、外出時における移動電源基地にもなっており、乗員が持ち込む電子機器の充電用に使われることも多い。走行発電がある前提としても、その余力に多くは期待できない。同乗者が多くなるファミリーカーならなおさらだろう。

アイドリングストップ機構が当たり前となるなか、機構作動時には当然のこと、発電機もストップする。チャージ乗りが多ければなおさらに、また乗車タイミングの間があくほどに、そのしわ寄せはバッテリーに向けられることになる。

今、より求められる バッテリーの回復力

そんなバッテリー的に世知辛い状況下で飛び込んできたのがこのビッドグニユース。高性能バッテリーの代名